

2025 年 10 月 1 日
商 工 中 金

プラスチックフィルムを製造する株式会社ダイコーに対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した 総額 7 億円のシンジケートローンを組成

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（船場支店）は、株式会社ダイコー（本社：大阪府羽曳野市、代表者：竹下 晋司）に対し、総額 7 億円のシンジケートローンを組成しました。商工中金がアレンジャーを務め、大阪シティ信用金庫、紀陽銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。なお、本融資はポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、各種プラスチックフィルムの総合加工メーカーです。印刷から加工、製袋まで一貫対応を強みに、食品関連や化粧品、医療等幅広い分野に製品供給しています。

今回同社は、環境に配慮したインキ・溶剤の使用促進や、有給休暇取得率向上など働きやすい職場環境の整備等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブインパクトファイナンス評価書](#)」をご覧ください

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組 成 金 額	7 億円(コミットメントライン)	
アレンジャー兼エージェント	商工中金	3 億円
参 加 金 融 機 関	大阪シティ信用金庫	2 億 5,000 万円
	紀陽銀行	1 億 5,000 万円
契 約 締 結 日	2025 年 9 月 30 日	

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【株式会社ダイコーの概要】

所在地	大阪府羽曳野市野 47-1
代表者	竹下 晋司
業種	各種プラスチックフィルムの総合加工
資本金	3,000 万円
従業員数	56 名 (2025 年 6 月時点)
設立	1971 年 4 月



【本社】

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ (UNEP FI) が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

